報告書番号 S01009690401A

第5回 FunTrails Round みなの50K/みなの30K
環境モニタリング
報 告 書

令和8年 5月

大 会 主 催：第5回　ＦＴＲみなの実行委員会
調査実施機関：株式会社環境管理センター

目　　次

頁

1. 大会概要 …… 1

2. モニタリング手法 …… 1

3. 調査地点図 …… 2

4. 気象 …… 3

5. 調査結果 …… 4

6. まとめ …… 15

1. 大会概要

大会概要は、下記に示すとおりである。

1） 大会名称

第5回 FunTrails Round みなの50K/みなの30K（FTRみなの）

2） 大会日時

前日受付：2026年5月9日（土）

大会当日：2026年5月10日（日）

ＦＴＲみなの30K

5月10日（日）:スタート時間　9：30

5月10日（日）:フィニッシュ制限時間　17：30

ＦＴＲみなの50K

5月10日（日）:スタート時間　7：00

5月10日（日）:フィニッシュ制限時間　19：00

3） 大会主催

第5回ＦＴＲみなの実行委員会

4） 大会企画・運営

FunTrails 合同会社

5） 大会開催場所

埼玉県皆野町

6） コース情報

コース情報の概要は、以下のとおり示す。なお、詳細は図３－１に示す。

ＦＴＲみなの30K：距離30km/累積標高1,534m（トレイル率:65%）/制限時間8時間

皆野スポーツ公園野球場(会場)⇒釜山神社⇒釜伏峠⇒登谷山⇒皇鈴山⇒
二本木峠⇒ 秩父高原牧場⇒粥新田峠⇒八幡大神社⇒二十三夜寺⇒美の山公園⇒
蓑山神社⇒蓑山線出合⇒善女龍神社・雷電神社⇒関東粉化工業前⇒戦場通り⇒
龍ヶ谷城跡登山口⇒龍ヶ谷城跡⇒ 能林登山口⇒皆野スポーツ公園野球場(会場)

ＦＴＲみなの50K

距離51km/累積標高2,500m（トレイル率60%）/制限時間12時間

皆野スポーツ公園野球場(会場)⇒釜山神社⇒釜伏峠⇒登谷山⇒皇鈴山⇒
二本木峠⇒ 秩父高原牧場⇒粥新田峠⇒八幡大神社⇒二十三夜寺⇒美の山公園⇒
蓑山神社⇒蓑山線出合⇒善女龍神社・雷電神社⇒関東粉化工業前⇒戦場通り⇒
龍ヶ谷城跡登山口⇒龍ヶ谷城跡⇒能林登山口⇒皆野スポーツ公園野球場(会場)⇒
皆野中学校前⇒栗谷瀬橋⇒皆野高校⇒国神登山口⇒三又ピーク⇒破風山⇒
札立峠⇒水潜寺⇒秩父華厳の滝⇒大前⇒大前山⇒札立峠⇒破風山巻道分岐⇒
高橋沢登山口⇒栗谷瀬橋⇒皆野中学校前⇒皆野スポーツ公園野球場(会場)

7） 大会出走者

ＦＴＲみなの30K　564 人

ＦＴＲみなの50K　575 人

(途中棄権、オーバータイム含む)

2. モニタリング手法

モニタリング手法のまとめを表２－１に示す。

表２－１　モニタリング手法のまとめ

手法	方法	調査地点（略称）注)1	調査日
環境影響モニタリング	大会実施前後の写真撮影による比較	No.13_1 No. 5_1 No. 6_1 No. 8_1	4月29日（大会実施前） 5月10日（大会実施後）注)2
利用影響モニタリング	大会実施中に登山者を含む一般利用者へヒアリング	No. 6_2	5月10日（大会実施中）注)3

注)1:調査地点の位置は、図3-1に記載した。

注)2:大会実施後の調査は、全ての大会参加者が通過した後に実施した。

注)3:大会実施中の調査は、大会参加者が通過している10：15～11：25に実施した。

3. 調査地点図

調査地点を図３－１に示す。

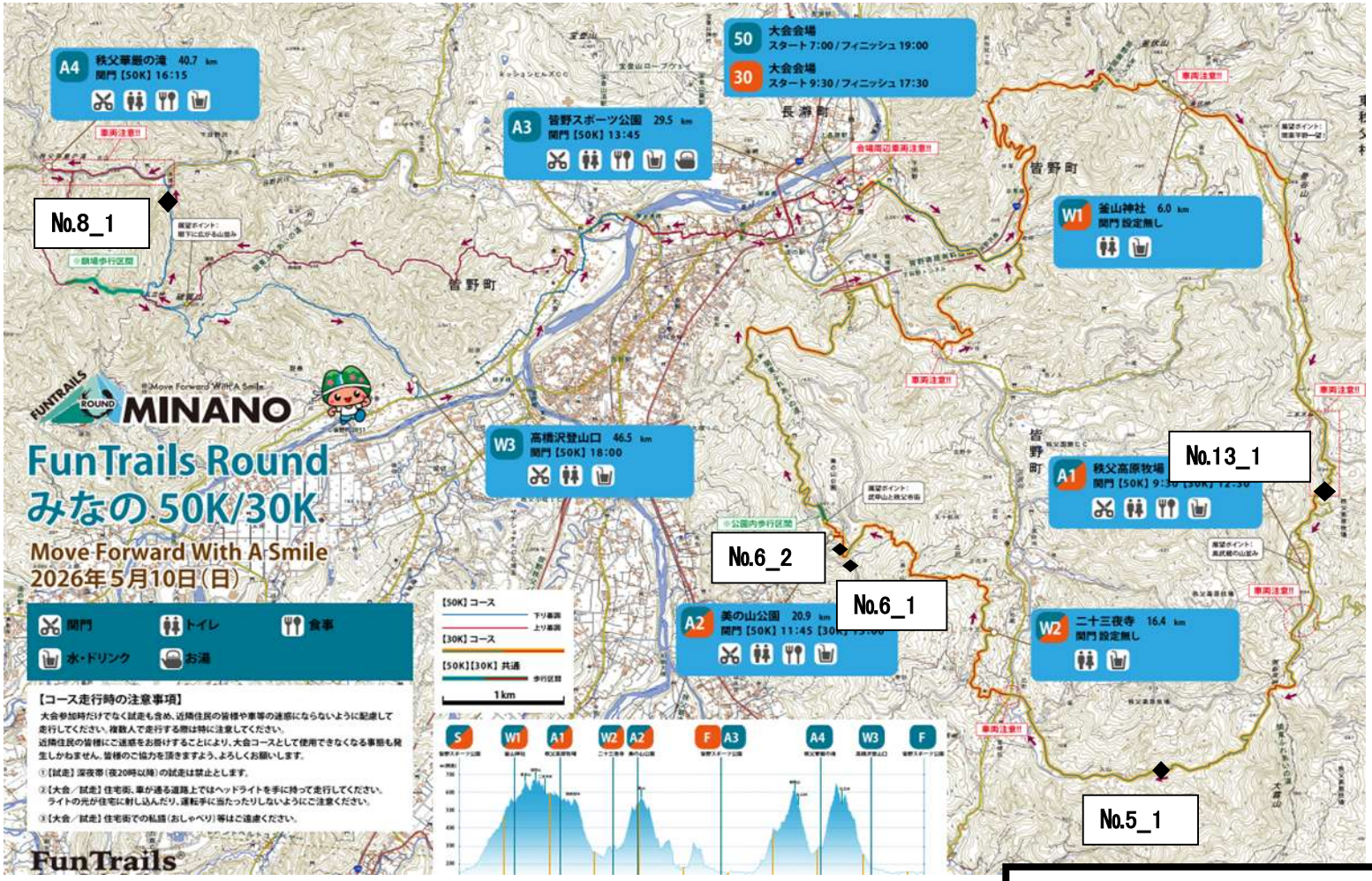


図３－１　調査地点図

（凡例：◆　調査地点（略称））

4. 気象

大会実施日近辺（４月29日～５月10日）の降水量は表４－１に、大会実施日の気象状況は表４－２に示すとおりである。

なお、表４－１、表４－２の気象データは、気象庁観測（秩父市）のデータを抜粋した。

表４－１　大会実施日近辺（4月29日～５月10日）の降水量

日　付	合計 (mm)	最大 1時間(mm)	最大 10分間(mm)	大会実施日	調査段階 利用影響	調査段階 環境影響
4月29日	0	0	0			大会実施前
4月30日	1.5	1.0	0.5			
5月1日	31.0	6.0	2.0			
5月2日	--	--	--			
5月3日	--	--	--			
5月4日	3.5	2.5	1.0			
5月5日	--	--	--			
5月6日	0.0	0.0	0.0			
5月7日	--	--	--			
5月8日	0.0	0.0	0.0			
5月9日	--	--	--			
5月10日	--	--	--	○	大会実施中	大会実施後

-- ：降水量がないことを示す。なお、0.0mmは0.5mmに満たないことを示す。

表４－２　大会実施日（５月10日）の気象状況

日　付	時刻 (時)	降水量 (mm)	気温 (℃)	風向・風速 風速 (m/s)	風向・風速 風向	日照時間 (h)
5月10日	1	--	8.7	1.2	南南西	
5月10日	2	--	8.2	0.6	西北西	
5月10日	3	--	7.5	0.5	南南西	
5月10日	4	--	6.6	0.4	北西	
5月10日	5	--	6.8	0.2	静穏	0.0
5月10日	6	--	8.3	0.3	北北東	0.4
5月10日	7	--	11.6	0.8	北	1.0
5月10日	8	--	15.1	1.0	北北東	1.0
5月10日	9	--	17.4	1.5	東北東	1.0
5月10日	10	--	20.1	3.1	北	1.0
5月10日	11	--	20.8	3.7	北北東	1.0
5月10日	12	--	21.8	4.7	東北東	1.0
5月10日	13	--	22.9	4.5	東北東	1.0
5月10日	14	--	24.1	5.4	東	1.0
5月10日	15	--	23.9	4.1	東南東	1.0
5月10日	16	--	22.9	4.7	東南東	1.0
5月10日	17	--	21.9	4.1	東南東	1.0
5月10日	18	--	20.2	4.8	東	1.0
5月10日	19	--	18.6	3.1	東	0.2
5月10日	20	--	17.5	1.2	東北東	
5月10日	21	--	16.4	1.9	南南東	
5月10日	22	--	14.9	1.9	南南西	
5月10日	23	--	13.1	1.2	南西	
5月10日	24	--	12.2	0.8	南西	

降水量　：-- 降水量がないことを示す。

なお、0.0mmは0.5mmに満たさないことを示す。

：大会実施時間

5. 調査結果

調査結果は、次頁以降に示す。

地点名称	皇鈴山～二本木峠付近（略称：No.13_1）
緯度	36° 04’04.55″N
経度	139° 09’25.63″E
標高	625 m

地点概要

関東ふれあいの道No.13上の調査地点である。
皇鈴山より大会コースに沿って進み、指導標識13-C01の直前の木製階段を降りた所を調査地点とした。下り基調で走りやすいトレイルである。

選定理由

関東ふれあいの道No.13を通過するため。
みなの30K及び50Kの選手が通過するため。

モニタリング手法

環境影響モニタリング
（写真撮影による（大会実施前後の比較））

使用機材

デジタルカメラ	スマートフォン(iPhone17e)　内蔵カメラ
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（ジオグラフィカ）
斜度の測定	スマートフォンアプリ
洗掘高の測定	メジャーによる

大会実施前		大会実施後	
日時　（天候）	4月29日　晴	日時　（天候）	5月10日　晴
実施者	吉永、小髙	実施者	吉永、小髙、武藤
幅員	0.70m	幅員	0.70m
洗掘高	0.030m	洗掘高	0.030m
斜度	登り方向　17°	斜度	登り方向　17°

大会実施前後で比較した結果

大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。
直前の階段も同様であった。

①　進行方向　近景	①　進行方向　近景
②　進行方向　遠景	②　進行方向　遠景

地点名称	皇鈴山～二本木峠付近（略称：No.13_1）
大会実施前	大会実施後
③　逆方向　近景	③　逆方向　近景
④　逆方向　遠景	④　逆方向　遠景
⑤　洗掘高の測定	⑤　洗掘高の測定
⑥　斜度の測定	⑥　斜度の測定

地点名称	簡易水道の水源付近（略称：No.5_1）
緯度	36° 02’11.72″N
経度	139° 08’55.21″E
標高	395 m

地点概要

関東ふれあいの道No.５上の調査地点である。
粥新田峠の登山口より大会コースに沿って進み、注意標識5-C05付近である。
沢を徒渉するが、その沢は簡易水道の水源になっている。

選定理由

関東ふれあいの道No.５を通過するため。
みなの30Ｋ及び50Ｋの選手が通過するため。
簡易水道の水源付近を通過するため。

モニタリング手法

環境影響モニタリング
（写真撮影による（大会実施前後の比較））

使用機材

デジタルカメラ	スマートフォン(iPhone17e)　内蔵カメラ
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（ジオグラフィカ）
斜度の測定	スマートフォンアプリ
洗掘高の測定	メジャーによる

大会実施前		大会実施後	
日時　（天候）	4月29日　晴	日時　（天候）	5月10日　晴
実施者	吉永、小髙	実施者	吉永、小髙、武藤
幅員	0.75m	幅員	0.75m
洗掘高	0.060m	洗掘高	0.060m
斜度	登り方向　15°	斜度	登り方向　16°

大会実施前後で比較した結果

大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。
簡易水道となっている沢も同様であった。

①　進行方向　近景	①　進行方向　近景
②　進行方向　遠景	②　進行方向　遠景

地点名称	簡易水道の水源付近（略称：No.5_1）
大会実施前	大会実施後
③　逆方向　近景	③　逆方向　近景
④　逆方向　遠景	④　逆方向　遠景
⑤　洗掘高の測定	⑤　洗掘高の測定
⑥　斜度の測定	⑥　斜度の測定

地点名称	美の山公園付近（№6_1）
緯度	36° 03’12.96″N
経度	139° 06’55.59″E
標高	509 m

地点概要

関東ふれあいの道№6上の調査地点である。
美の山公園に入る直前にて、指導標識6-080付近である。

選定理由

関東ふれあいの道№６を通過するため。
みなの30Ｋ及び50Ｋの選手が通過するため。
上り基調であるものの木製階段があるため。

モニタリング手法

環境影響モニタリング
（写真撮影による（大会実施前後の比較））

使用機材

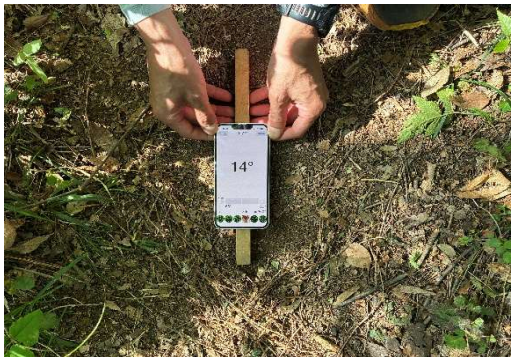
デジタルカメラ	スマートフォン(iPhone17e)　内蔵カメラ
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（ジオグラフィカ）
斜度の測定	スマートフォンアプリ
洗掘高の測定	メジャーによる

大会実施前		大会実施後	
日時　（天候）	4月29日　晴	日時　（天候）	5月10日　晴
実施者	吉永、小髙	実施者	吉永、小髙、武藤
幅員	0.60m	幅員	0.60m
洗掘高	0.030m	洗掘高	0.030m
斜度	登り方向　14°	斜度	登り方向　14°

大会実施前後で比較した結果

大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。
直後の階段も同様であった。

①　進行方向　近景	①　進行方向　近景
②　進行方向　遠景	②　進行方向　遠景

地点名称	美の山公園付近（No.6_1）
大会実施前	大会実施後
③　逆方向　近景	③　逆方向　近景
④　逆方向　遠景	④　逆方向　遠景
⑤　洗掘高の測定	⑤　洗掘高の測定
⑥　斜度の測定	⑥　斜度の測定
	

地点名称	美の山公園付近（№6_2）
緯度	36° 03’21.62″N
経度	139° 06’49.72″E
標高	563 m

地点概要

美の山公園には、一般利用者として、公園を散策する方やハイキング客が見られる。公園直下の駐車場にエイドが設営され、駐車場や公園外周をコースとして設定されている。公園内を通過するコース設定ではないものの、駐車場などで一般利用者と遭遇する場合が見られた。

選定理由

みなの30K及び50Kの選手が通過するため。
公園内を通過するコース設定ではないものの、駐車場などで一般利用者と遭遇することが想定されたため。

モニタリング手法

利用影響モニタリング
（登山者を含む一般利用者へのヒアリングによる）

大会実施中

日時 （天候）	5月10日　晴
実施者	吉永、武藤、小髙

一般利用者の状況

一般利用者の殆どが車で来場し、駐車場等で大会参加者と遭遇していた。
なお、来場数が少なかったように見えた。

大会参加者の状況

大会参加者は、一般利用者と大会コース上で遭遇することがあったものの、出来る限り歩くなど配慮していた。

調査 風景

地点名称	美の山公園付近（№6_2）
ヒアリング対象	合計　16　（10グループ） （男性　9） （女性　7） （単位：人）
ヒアリング対象の年代	20代未満　2　20代　0 30代　2　40代　2 50代　2　60代　7 70代　1 （単位：人）
お住まいの都道府県	1. 東京都内　7 2. 埼玉県内　9 3. その他　0 （単位：人）
今回の訪問目的	1. 登山など　14 2. 観光など　1 3. その他　1 （単位：人）

地点名称	美の山公園付近（№6_2）
トレイルランを知っていますか。	1．知っている　5 2．知らない　11 3．無回答　0 （単位：人）
本日の大会開催を知っていましたか。	1．知っている　0 2．知らない　16 3．無回答　0 （単位：人）
本日の大会でランナーや応援者のマナー等で気になった点はありましたか。	1．とくになし　16 2．あった　0 3．無回答　0 すれ違いでゆっくり歩いてくれたりマナーは良い （単位：人）
大会に係る標識等による戸惑い（標識の見間違いなど）はありましたか。	1．とくになし　16 2．あった　0 3．無回答　0 （単位：人）
大会関係の仮設工作物等、大会関係者が集まっている場所（ex.スタート地点）において、通行や休憩に支障はありましたか。	1．とくになし　16 2．あった　0 3．無回答　0 （単位：人）
その他本日の大会でトラブル等を見聞きしましたか。	1．とくになし　16 2．あった　0 3．無回答　0 （単位：人）

地点名称	札立峠～水潜寺付近（略称：№8_1）
緯度	36° 04’47.18″N
経度	139° 03’14.29″E
標高	323 m

地点概要

関東ふれあいの道№８上の調査地点である。
札立峠から水潜寺に至る登山道にて、途中荒れている箇所もあり、右側が川にて、下り基調である（里程標8-023付近）。

選定理由

関東ふれあいの道№８を通過するため。
みなの50Ｋの選手が通過するため。
下り基調で右側が川であり崩れやすいと考えられるため。

モニタリング手法

環境影響モニタリング
（写真撮影による（大会実施前後の比較））

使用機材

デジタルカメラ	スマートフォン(iPhone17e)　内蔵カメラ
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（ジオグラフィカ）
斜度の測定	スマートフォンアプリ
洗掘高の測定	メジャーによる

大会実施前		大会実施後	
日時　（天候）	4月29日　　晴	日時　（天候）	5月10日　　晴
実施者	吉永、小髙	実施者	吉永、小髙、武藤
幅員	0.70m	幅員	0.70m
洗掘高	0.035m	洗掘高	0.035m
斜度	登り方向　15°	斜度	登り方向　15°

大会実施前後で比較した結果

大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。

①　　進行方向　近景	①　　進行方向　近景
②　　進行方向　遠景	②　　進行方向　遠景

地点名称	札立峠～水潜寺付近（略称：No.8_1）
大会実施前	大会実施後
③　逆方向　近景	③　逆方向　近景
④　逆方向　遠景	④　逆方向　遠景
⑤　洗掘高の測定	⑤　洗掘高の測定
⑥　斜度の測定	⑥　洗掘高の測定

6. まとめ

環境影響モニタリングとして調査した範囲内では、大会前後で大きな変化はなかった。

また、利用影響モニタリングとして一般利用者へヒアリングを実施した結果、大会開催に否定的な意見は見られなかった。一方でトレイルランニングへの認知は、一定程度見られたが、来場前に大会開催を知らなかった方が殆どであり大会開催の認知を上げる必要がある。

今後とも大会開催にあたっては、引き続きモニタリングを実施し、自然環境及び一般利用者と共生できる大会運営に務めていく必要がある。